



2月の教室・行事予定

日	曜	教室・行事等
2	水	フォークダンス (10:00~12:00)
4	金	健康体操 (13:30~15:30) 南子ども会 (19:30~21:00)
7	月	健康・太極拳教室 (14:00~15:30)
8	火	茶道 (13:30~15:30)
11	金	建国記念の日
12	土	詩吟 (19:00~21:00)
14	月	健康・太極拳教室 (14:00~15:30)
16	水	フォークダンス (10:00~12:00) 健康相談 (13:30~15:30)
18	金	ふれあい料理教室 (9:00~12:00) 健康体操 (13:30~15:30) 南子ども会 (19:30~21:00)
21	月	健康・太極拳教室 (14:00~15:30)
22	火	人対協女性部・大町会館合同研修会 茶道 (13:30~15:30)
23	水	天皇誕生日
25	金	健康体操 (13:30~15:30) 南子ども会 (19:30~21:00)
26	土	人権かるた・お手玉大会 (10:00~11:30) 詩吟 (19:00~21:00)
28	月	健康・太極拳教室 (14:00~15:30)

【開館時間】 9:00 ~ 17:00

【休館日】 土曜日 日曜日

国民の祝日 年末年始 (12/29~1/3)

※新型コロナウイルス感染症拡大状況により、
予定が変更または中止になる場合があります。

寝た子は起こさない方がいいのでしょうか
毎年、市内各地で人権・同和教育小地域懇談会が開催されています。その場で、「部落問題について学習や啓発をするようなことをせず、そっとしておいた方がいい。放っておいたら、差別は自然になくなる」という意見が出る場合があります。

「令和元年度人権問題に関する市民意識調査」でも、部落問題を解決するには、「そっとしておくのが効果的である」という意見が40%という結果が出ました。

そこで今回は、この「寝た子を起こすな論」の誤りについて考えてみましょう。

まず第一に、歴史的事実がこの考えを否定しています。明治になり「解放令」が出され、制度としての身分差別は廃止されました。しかし、部落差別は国の無策により、そっと放置され続けられました。まさに「寝た子を起こすな」という状態であったのです。その結果、厳しい差別がなくならなかったため、「解放令」から50年を経て、「全国水平社」は立ち上がったのです。第二に、「知らない人は、知らないまま生きていく」という前提がありえないということです。「意識調査」では、部落問題を「学校の授業で知った」という人が一番多いのですが、学習の場以外でも部落問題と出会っている人が多くいるという結果も出ています。教育・啓発の場での正しい情報の伝達を止めてしまうと、家族や友達などの私的な場での間違っただけ情報が広がってしまうことにもなりかねません。特に、インターネットの掲示板等で、悪質な差別書き込みが増えていることが問題です。差別感情や偏見をもった人から、間違っただけ考えを刷り込まれている現状があります。そこで、誤った起こされ方をする前に、学校教育や社会啓発の場において、部落差別の現実に正しく学ぶことが大切になります。

西条市人権教育協議会・西条市人権擁護課

一人で悩まないで、まずはお気軽にご相談ください。

ここ大町会館（隣保館）は、人と出会い、交流、つながる場です。偏見や差別、排除のない多様な生き方やこれからの社会の在り方を語り合う場です。人と人がつながり合う社会に関心がある方、何かを始めたいと思っている方、お気軽にお立ち寄りください。ご心配事、悩み事など各種相談、お申込み・お問い合わせは、**西条市大町会館（☎0897-55-5393）**まで、お気軽にご相談ください。

大町会館 だより2月号

2022年2月 第262号

発行：西条市大町会館

西条市福武甲1644番地1

TEL・FAX 55-5393

eメール

omachikaikan@saijo-city.jp

百年のバトンを受け継いで

— 全国水平社創立・水平社宣言100周年を迎えて —

今春、2022年3月3日、全国水平社創立並びに全国水平社宣言採択100周年を迎えます。「人の世に熱あれ、人間に光あれ」と謳われた「全国水平社創立宣言」は、1922年（大正11年）3月3日、京都市の旧岡崎公会堂で開催された全国水平社創立大会において採択された記念すべき宣言です。

これは、人間の尊厳と自由平等の理念を掲げ、全ての差別撤廃と人間解放を謳った、まさしく日本で初めての「人権宣言」です。「水平」には、「差がないこと」「人間のつくる尺度では決してはかることができない絶対的な平等」などの意味が込められています。あわれみや同情ではなく、人間を尊敬（リスペクト）することによって、仲間とともに自ら立ち上がり、差別のない社会をつくらうとする運動が始められました。

来る3月で100年という、差別撤廃への苦闘と絶え間ない努力の長い道のりが経とうとしています。平成28年12月に公布された「部落差別解消推進法」の施行から早や5年、差別の現実は未だ厳しいものがあると感ずります。水平社宣言にあります「人間を尊敬する」という理念は、差別された者の解放のみならず、差別した者の解放まで願っており、人間が人間を尊敬する関係を築くことを求めています。これは、部落問題のみならず、障害者問題、高齢者問題、外国人、ハンセン病問題など、私たちの直面している様々な人権問題を解決していくための原点でもあります。

この100年という意義深い節目を迎えて、今一度、「全国水平社創立」の原点並びに「全国水平社宣言」に込められた理念とその熱き想いのバトンを、私たち一人一人が「自分事」として受け継いでいかねばならない「時（とき）」が来ています。



【本会館 水平社宣言コーナー(階段壁面)】

第262回 会館ミニ展示会

『水彩画作品展』

【日程】 2月1日（火）～28日（月）

【場所】 大町会館 玄関ホール

【提供】 水彩画教室「タッチ」のみなさん

40代から要注意！ ロコモ撃退！ 足・腰じょうぶ生活へ！

～会館地域交流事業 第3回健康教室より～

2022年新春、今年度第3回（最終）となります健康教室を開催しました。済生会西条病院リハビリテーション科から理学療法士の渡部 俊郎先生を講師にお迎えして、『転倒防止（体操）について』というテーマのもと、講話の中に体操も交えながらの健康教室でした。

皆さんは、「ロコモ」という言葉をご存じでしょうか？どこかで聞いたことがあるような、ないような…。実は、「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」が正式名称で、「骨や筋肉、関節といった運動器の状態が衰えることで、寝たきりや要介護になる危険性が高い状態」のことを意味し、略して「ロコモ」といいます。近年では、通称「メタボ⇒メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）」の認知度は高くなりましたが、厚生労働省曰く、これからは「ロコモ」が日本の重大な健康課題だそうです。



長寿大国である日本、高齢化が加速度的に進んでいる現況で、介護や支援が必要になった原因として、4人に1人はロコモが関係しています。日本人の平均寿命と、健康で自立した生活を送れる「健康寿命」との差は、男性で約9年、女性で約12年あります。この現実を自分事として受け止めて、寝たきりや要介護になるリスクをできるだけ回避するために、この「ロコモ」を予防し、「健康寿命」を伸ばしていきましょう。

具体的な体操として、何歳から始めても筋力アップ、「いつでも、どこでも、だれでも」できるロコモーショントレーニング（ロコトレ）を2つ紹介します。

- ・**ロコトレ①** 開脚片足立ち [左右1分間ずつ、1日3回]
⇒ バランス感覚を鍛え、足を丈夫にします。
- ・**ロコトレ②** スクワット [深呼吸するペースで、5～6回繰り返す（一日3回）]
(お尻をゆっくりおろす。洋式トイレに腰かけるイメージで)
⇒ 太もも前側、お尻などの筋肉を鍛え、立つ・歩くなどの能力をアップさせます。
(安全のため、椅子やソファの前で行いましょう。)



本教室にご参加頂きましたクラフトコスモスの皆さま、並びに地域の皆さま、ありがとうございました。



各種講座等のご案内

第3回 ふれあい料理教室

《日 時》 2月18日（金）
9:00～12:00
《場 所》 大町会館 調理実習室
《講 師》 高木 俊江 先生
《内 容》 季節の献立
《参加費》 300円
《定 員》 10名
《持参物》 エプロン 三角巾



人権対策協議会西条支部女性部・大町会館合同研修会

《日 時》 2月22日（火）
10:00～12:00
《場 所》 大町会館2階大会議室
《講 師》 近藤 誠 さん
西条市丹原総合支所市民福祉課
広域隣保活動相談員
《演 題》 『老いても、ボケても、心豊かに生きる』

人権かるた・お手玉大会

【日 時】 2月26日（土）
10:00～11:30
【場 所】 大町会館 2階大会議室

当初1月に予定しておりましたが、感染症拡大を受け標記の日程に変更させていただきました。皆様のご参加をお待ちしています。

- ★マスクの着用をお願いします。
- ★体調が悪い場合は参加をお控えください。
- ★今後の状況によっては、開催内容の変更や開催中止となる場合がございます。

ご理解、ご協力のほど、
よろしくお願い申し上げます。

お申込み・お問い合わせは、
大町会館（☎55-5393）まで

